議会事務局業務のDX・効率化についての検討を求める請願

令和８年８月14日

あて先

浜田市議会議長　様

請願者

[redacted]
住所：[redacted]
電話番号：[redacted]

紹介議員

森谷公昭

---

1. 請願事項

浜田市議会事務局について、現在行われている業務の必要性、業務量、費用対効果等を検証するとともに、AI・DX等の活用による業務効率化や業務の見直しについて検討することを求めます。

2. 請願理由

浜田市においても、人口減少等に伴う職員不足への対応が重要な課題となっています。

その中で、市役所全体だけでなく、議会事務局についても限られた人員を有効に活用する必要があります。

これまで行われてきた業務についても、

「本当に現在も必要なのか」

浜田市議会 受付 8.8.14 15:7

「別の方法で効率化できないか」

「AI やデジタル技術によって代替・簡素化できないか」

「投入している人員や経費に見合う効果があるのか」

という視点から定期的に検証することが重要です。

特に、生成 AI やデジタル技術は急速に進歩しており、文書作成、情報整理、議事録作成、資料作成等、議会事務局の業務を補助できる可能性があります。

もちろん、AI には誤情報を生成する可能性があるため、人間による確認・判断を前提とする必要があります。

しかし、AI を一律に排除するのではなく、人間が確認・判断することを前提として、活用可能な業務を検討することが重要です。

また、業務を効率化することは、単に人員を削減することを目的とするものではありません。

限られた人員を、議会運営において本当に必要な業務、より高度な判断を必要とする業務、市民への情報提供など、より重要な業務に振り向けることが目的です。

そのため、議会事務局についても、業務の必要性、業務量、費用対効果を検証し、AI・DX 等を活用した効率化や業務の見直しについて検討することを求めます。

以上、請願いたします。